



キンギョには歯はないの

キンギョは、のどに歯がある

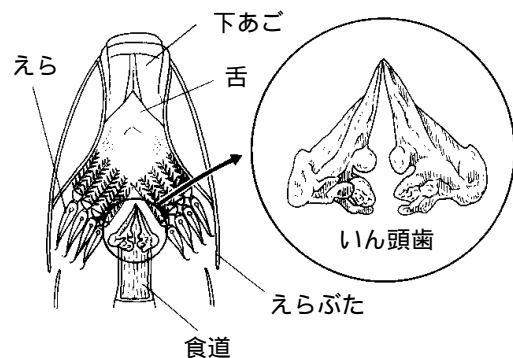
キンギョの口の中を探しても、歯がありません。じつは、キンギョは、のどの所に、いん頭歯とよばれる歯をもっているのです。のどの左右に、ちょうど人間のおく歯のような、うすの形をした歯があり、口から食道へ食べ物を通るとき、この歯ですりつぶしています。キンギョと同じコイの仲間のグループである、コイ、フナ、タナゴ、ウグイなどは、同じしくみの歯をもっています。また、この仲間は、どれも胃がありません。ちょこちょこ、少しずつえさを食べる習性があり、長い腸があるため、胃がなくてもこまらないうのです。

速く泳げる魚は、歯がない

マグロやカツオのように、すごいスピードで泳ぎながら小魚を飲みこめる魚は、歯は小さいです。逆に、動きがおそいアンコウなどは、魚をかみついてとらえるため、歯が大きく数も多いものです。水といっしょに飲みこめる、プランクトンなどをえさにしているイワシやタツノオトシゴなどは、ほとんど歯がありません。

肉食のサメや、ウツボ、タチウオなどは、えさを食いちぎるため、とがった犬歯をもっています。岩にくっついた生物をけずりとって食べるフグやブダイは、歯がくっつきあって板のようになっています。貝やカニなどを食べるタイの仲間は、殻をかみくだける、うすの形をした、じょうぶな歯をもっています。

(監修・安部 義孝)



キンギョのいん頭歯

